

主要事業マネジメントシート

部局名 環境農林水産部

事業名 動物愛護管理センター(仮称)整備事業費 / 担当室課 環境農林水産部動物愛護畜産課	
予算額 H24 14,727 千円() H25 142,469 千円()	実績 H24 12,668 千円() H25 97,363 千円()
事業の優先性 <input type="checkbox"/> 重点課題【知事重点分野】 (項目名:) <input type="checkbox"/> 成長戦略 (項目名:) <input type="checkbox"/> その他 (項目名:)	
役割分担 行政としての役割 <input type="checkbox"/> 府の役割 <input type="checkbox"/> 国の役割 <input type="checkbox"/> 市町村の役割 「狂犬病予防法」「動物の愛護及び管理に関する法律」による。	民間との役割分担 <input type="checkbox"/> 民間では実施不可(行政がすべき役割) <input type="checkbox"/> 民間で実施するためのインセンティブとして実施 <input type="checkbox"/> その他 (理由)
事業手法 手法の妥当性 森ノ宮の現収容施設は狭隘で地下にあり、老朽化もあって建替えを検討。森ノ宮再開発構想とも重なったため、現食みセンターの敷地の一部を整備予定地とし移転することとした。本施設の整備により、施設の集約(動物一時保護センター(高槻市)と藤井寺分室を集約)と飼育管理の充実等を図れ、より効率的、効果的に事業を進めることができる。また、施設計画については、殺処分がなくなることを目指す。飼育環境の適正化を図りつつ、必要にして最小限のものとした。	
事業選択 受益と負担 <input type="checkbox"/> 受益者負担あり(内容・水準: <input type="checkbox"/> 受益者負担を求めない(理由: <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担になじまない	
事業間調整 将来のリスク管理	
事業効果 目標・指標 (事業目標) 動物の引取り数の削減と譲渡の推進を図り、殺処分がなくなることを目指すし、人と動物が共生できる社会の実現を図る。 (指標) 開所から約1年後の譲渡頭数等の目標値 (建設事業評価審査会 事後評価時目標値) 大譲渡目標数 取扱頭数の60%を譲渡 猫譲渡目標数 取扱頭数の5.6%を譲渡 ※取扱頭数:大阪府が引取り等した動物の数	(実績) 開所 ~ 1年後 (コスト分析結果) H24(フルコスト) 千円 / (指標数値) 千円 H25(フルコスト) 千円 / (指標数値) 千円
特記事項 平成26年4月より、環境農林水産部(動物愛護畜産課)と健康医療部(食の安全推進課)に分かれていた動物行政を環境農林水産部に一元化したことによる。	目標に達しなかった場合の見直し・改善方策

<事業優先性や事業選択の判断に影響を与えるような事情が新たに発生した場合等に記入>